【電子かわら版　チャペル・アワー　No.013】 2020 年 7 月 14 日（火）
★今週の前奏：Beate Leibe 作曲、"Befiehl du deine Wege"
https://www.youtube.com/watch?v=X2gmJy6PvCc
★今週の聖書：マタイによる福音書７章７－８節
★今週の賛美歌：528 番「あなたの道を主にゆだねて」
https://www.youtube.com/watch?v=LrSHF48KcG0
★今週の後奏：UVERworld、『ＰＲＡＹＩＮＧ　ＲＵＮ』
https://www.youtube.com/watch?v=vZpssxD0isQ
★今週の説教者：三浦　啓　牧師

日本基督教団桐生東部教会。高砂保育園園長。札幌出身。ブエナヴィスタ大学(アイオワ州)、同志社大学神学部、神学研究科卒業。甲東教会、敬和学園高等学校で勤め、2014 年に桐生東部教会の牧師に、2015 年から高砂保育園園長も担っている。趣味はスポーツ、ダイビング、料理、旅行。

★ メッセージ：「全部やって確かめりゃいいだろう」

おはようございます。桐生東部教会で牧師を、高砂保育園で園長を担っています三浦啓です。今日は、新島学園短期大学の皆さんと紙面上ですが一緒に礼拝を守れますことを嬉しく思います。今日は、私が牧師として、園長として新型コロナウイルスに向き合う中で感じたこと、考えたこと、行動したことについて、聖書の言葉とある曲の歌詞を通して皆さんにお伝えしたいことを記したいと思います。

新型コロナウイルスの感染が世界中、日本各地で拡がり、日本各地の緊急事態宣言は解かれましたが、未だに毎日感染者が確認され、いろいろと制限をされる生活が続いています。恐らく学生の皆さんも、予定していた事を行えないなど、学校生活の中で困難を覚えることがあるのではないでしょうか。

私も、新型コロナウイルスの感染拡大により、教会に皆を集めて礼拝を行って良いのか、保育園の日々の保育や行事などをどのようにすれば良いのか、いくつもの判断を迫られました。教会では３月後半から６月末まで礼拝は基本的には各ご家庭で守っていただくことにし、保育園は４月後半から５月末まで登園自粛に協力していただき、入園式や親子遠足は行うことができませんでした。恐らく、お泊り保育も、泊まらずに保育内で行うことになるでしょうし、運動会も内容を変更したり、遠足や納涼会、バザーなどは行えなくなったりするでしょう。

また、３月に高校生を沖縄へ連れていく研修も中止になり、日本キリスト教保育所同盟の関東地区が担当して計画していた北海道で行う予定だった研修会も無くなりました。北海道で行う研修を発案したのは私で、北海道へ下見に２回行き、かなり時間をかけて準備をしてきただけに、中止せざるを得ない状況に何とも言えない気持ちになりました。また、夏に高校生を対象に３泊４日のキャンプを毎年行っていますが、それも中止になり、その他の海外への研修や国内の出張なども無くなり、本当に全ての予定がなくなりました。そして「思うようにいかない」、「なぜこんなことに・・・」と思ってばかりの毎日を過ごしました。

このような気持ちになるのは“久しぶり”のことでした。“久しぶり”というのは、私が高校生の頃、常にそのような思いを抱えていた経験があったからです。

私は中学校を卒業するまで札幌で生まれ育ちました。しかし、勉強もせず、教師に対する生活態度も悪く、残念ながら札幌には問題児の私が進学できる高校はありませんでした。そこで、全国から生徒を受け入れている新潟にあるキリスト教の学校へ進学することにしました。高校では寮生活をし、高校生活を送っていましたが、そこでも勉強をするわけでもなく、授業をサボり、教師と衝突する日々を過ごしていました。「自分が何をしたいのか」、「自分がこの先どのような

道に進みたいのか」、などもよくわからず、中途半端な自分や、なんだか楽しいことのない生活にイライラしていたように思います。新島学園短期大学で学ぶ皆さんはどうでしょうか。「思うようにいかない」、「なぜこんなことに」、「先行きが見えない」と不安になったり、イライラしたりすることはないでしょうか。

私は今回、保育園で登園自粛を保護者にお願いし、毎日登園する園児が１０名くらい（在園児５２名）になる中、「この状況で何ができるのだろう」、と考えました。登園する園児が少なくなるのであれば、当然、職員が全員（職員は全部で２１人います）出勤する必要はなくなります。他の保育園では職員を休みにしたり、自宅待機にしたり、という話も聞きましたが、うちの園では、パートの職員だけ仕事を休むか出勤するかを選んでもらい、常勤職員には出勤してもらいました。それは、登園自粛期間に私たち保育園職員に何かできることはないかを模索するためです。

ある時は、保育に入る職員以外で園庭の草取りをしたり、ある時は、日頃できない場所の大掃除をしたり、また、ある時は職員でこの状況下で私たちに何ができるのかを話し合いました。職員からは、「家で園児が退屈しているかもしれないので・・・」と手遊びや歌の歌詞を書いた紙を各クラスで用意して家に送るという提案や、遊び場に困る在園児家族のために園庭開放をしてはどうか、という提案もありました。また、自宅で過ごしている園児と保護者へ手書きの手紙を書いてもらったり、電話をして直接声を聞いて話をしたり、保護者会の積み立てから支出して在園家庭に新潟県産のお米を５キロずつ配ったり、いろいろな取り組みをしました。

確かに、私たちが直面した新型コロナウイルスという目には見えない感染症は厄介なものであり、「どうすればよいのか」と頭を悩ませたり、モチベーションが下がったりするものです。しかし、そこで立ち止まってしまっては何も生まれてきません。いろいろな不安や不満を“文句”や“自暴自棄”、“無気力”という形にしてしまうと、結局はそれが自分に返ってきてしまいます。私が新島学園短期大学の学生の皆さんにお伝えしたいのは、今回の新型コロナウイルスの難しい状況であっても、また日常の中でどうもうまくいなかい時であっても、今日の聖書の言葉にある「求めなさい。探しなさい。門をたたきなさい。」という言葉を実践してほしい、ということです。

私たちの毎日の生活は楽しいこと、嬉しいこと、うまくいくことばかりではありません。むしろ、辛いこと、苦しいこと、悲しいこと、うまくいかないと思うことの方が圧倒的に多いように思います。高校生の頃の私はそのようなうまくいかない状況を誰かのせいにしたり、イライラを暴言や悪い態度で発散したり、やるべきことから目を背けて生きていました。今思えば、周りの人たちを傷つけ、迷惑もたくさんかけたことでしょう。そんなこともわからず、自己中心的な生き方をしていたのです。しかし、そこから何か生み出されるものはありませんでした。何か得るものがあったとすれば、恥ずかしい失敗という経験だけです。

未だに、私は何度もいろいろな失敗を繰り返して生きていますが、今は、難しいことにも挑戦すること、全力で目の前のことに取り組むことだけは大切にしています。「求める。探す。門をたたく。」ということを大切にしています。

聖書の言う「求めなさい。そうすれば、与えられる。」とは、自分の欲しいものを願えば必ず与えられるとは限りません。「探しなさい。そうすれば、見つかる。」とは、「どうせ見つかるわけがない」と探す前から諦めるのではなく、「見つかるかもしれない」と探し続けることの大切さを教えているのだと思います。「門をたたきなさい。そうすれば、開かれる。」とは、重厚な門の前で「門をたたく」という一歩を踏み出すことを躊躇するのではなく、勇気を持って一歩踏み出せば、とても重くて開きそうにない門が自動ドアのように開くかもしれないですし、門をたたけば誰かが明けてくれるかもしれません。勇気を持って一歩踏み出してみよう、と私たちの背中

を押してくれているのです。

私たちに「求めない」、「探さない」、「門をたたかない」という選択をさせるものはいくらでもあります。私たち人間は弱い生き物なので、時に理由を付け、いいわけをし、自分を正当化して向き合うべきものから逃げてしまうこと、思考停止に陥ることもあります。しかし、やはりそこからは何も生まれません。

今日は、皆さんに、私がいつもサボりそうになったり、気持ちが折れそうになったりした時に自分の背中を押すために聴いている UVERworld の『PRAYING RUN』という曲を紹介したいと思います。曲の中で何度も「全部やって確かめりゃいいだろう」という歌詞が出てきます。皆さんはまだ若いので、がむしゃらにいろいろなことに挑戦し、挑戦した上での失敗は良い経験になると割り切って、「求める。探す。門をたたく。」歩みを進めてください。

皆さんの学校生活と健康が守られますように応援、お祈りしています。

【祈り】神様、私たちに、どんな時も、どんな状況でも、「求める。探す。門をたたく。」ことを選び取ることができるように、「失敗」の怖れをあなたに委ねて行動を起こす勇気を与えてください。アーメン。

『ＰＲＡＹＩＮＧ　ＲＵＮ』

Keep on praying（祈り続けろ）
Trailblazer（先駆者よ）
Believe in you（自分を信じろ）
Keep on running（走り続けろ）
Praying run
Don`t give up and stay on your way
Wow wow　Be strong
Check it out Trust yourself
Praying run
Don`t give up and stay on your way
Wow wow

俺がお前に勝つとか　負けるとか
これが叶うのか　叶わねえのか
それができるのか　できねえのかは
全部やって確かめりゃいいだろう
右と左どちらが正解　押すべきか引くべきか
それが幸と出るか　不幸と出るか
全部やって確かめりゃいいだろう
意味があるのか　無いのか
結果が出るか　出ないか
もっかいやっても無駄か
全部やって確かめりゃいいだろう
これがホントの最後か　もう手遅れだったとしても
答えが決まってたとしても
全部やって確かめりゃいいだろう

走り続けようとする僕に　誰かが言った
あなたは強い人　恐いものはもうないでしょ
そんなわけない　違うよ
僕は止まるのが本当は怖くて
何もかもが一緒に止まってしまいそうで
まだ終わらないでくれって祈るように走って
いつか起きる奇跡を信じて

Praying run
Don`t give up and stay on your way
Wow wow　Be strong
まだ終わらせやしない
Praying run
Don`t give up and stay on your way
Wow wow

間一髪で危機回避
ここでやめときゃ俺の勝ち　助かる
でもどうせならさ
全部やって確かめりゃいいだろう
できないことはやらない主義ですって
こだわり持って格好いい
分かった　そのうえでお前もさ
全部やって確かめりゃいいだろう
付き合うとか　合わねえとか
相性がいい　悪いとか
気持ちいいか　悪いかは
全部やって確かめりゃいいだろう
もっとああしろよとか　俺に文句があんならば
お前も　マイク持ってステージ立って
全部やって確かめりゃいいだろう

迷いのない　強い人だねって
違う　この迷いを
どうすればいいか分からず走って
汗をかけば楽になると思ったのに
それ以上にあふれてくる思いが
水になって目からこぼれてゆく
努力をせずに夢が叶った人と
努力をしても叶わなかった人
共に過ごすこの世界を眺めて
それでも今日も祈りを込めて
La la la … La la la … La la la …

Praying run
Don`t give up and stay on your way
Wow wow　Be strong　まだ止まらせやしない
Praying run
Don`t give up and stay on your way
Wow wow

気持ちだけが進んでくのに
理想は遠く　追いつけそうにない
暗闇を目隠ししたまま　ひたすら前にあてもなく
それでも走ってるときだけは
夢に向かって進んでるようで
ときどき目から水がこぼれるけど
それも幸せだと思えてるよ

努力をせずに夢が叶った人と
努力をしても叶わなかった人
たとえ僕は叶わない人だとしても
この足を止めはしないだろう

いつか誰もが驚くような
奇跡がこの身に起きたとしても
きっと僕だけは驚きはしないだろう
起こるべき奇跡が起きただけさ

祈りよ届け
La la la … La la la … La la la …

Praying run
Don`t give up and stay on your way
Wow wow　Be strong　本気を止まらせやしない
Stay on your way.

〔Song：UVERworld〕

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊：解説

★今週の前奏：Beate Leibe（1954 年～）作曲、"Befiehl du deine Wege"

後で歌う賛美歌 528 番と同じ歌詞（Paul Gerhard）につけられた別の曲（Gesius, Bartholomäus, 1555-1613　作曲）の旋律（下の楽譜を参照～528 番の歌詞で歌える）を、Beate Leibe がオルガン曲として編曲したもの。演奏は、Thomas Schmidt。ドイツのノイヴィードにある Marktkirche（Markt 教会）の Kleuker 社製オルガンでの演奏。

★今週の賛美歌：528 番「あなたの道を主にゆだねて」

歌詞を書いた Paul Gerhardt(1607~1676)は、ドイツ福音主義（プロテスタント）教会の牧師ですが、宗教改革者マルティン・ルター以降、最も重要なドイツ語の賛美歌作家だと言われています。1657 年から、ベルリンのニコライ教会の牧師となったゲルハルトは、その教会のオルガニスト（音楽監督）を務めていた Johann Cruger（1598-1662）と意気投合、多くの賛美歌を生み出し、それらの賛美歌は現代でも愛され歌われています。ゲルハルトもクリューガーも「作詞者作曲家索引」でしらべたら、沢山の作品が見つかるでしょう。

この賛美歌の冒頭「あなたの道を主にまかせよ」は詩編 37：5 の言葉。本人はこの詩を「苦難と慰めの歌」だとしています。原版は１２節もあるのですが、「讃美歌 21」には 4 節にまとめてあります。

J.S.Bach もこの歌詞に心惹かれ、「マタイ受難曲」の中で歌われる「コラール」のための歌詞とし、「讃美歌 21」で 310・311 番に使われている旋律を作曲しています。

「讃美歌 21」では、Johann Michael Haydn(1737-1806)作曲の旋律がゲルハルトの歌詞にあわせてあります。ハイドンがどんな状況でこの曲を作曲したのかはわかっていません。ハイドンはモーツアルトがウィーンを去った後に宮廷と大聖堂の楽長となり、多くの作品（宮廷のためにも教会のためにも）を残しています。